

すそみ点滅交差点

秋のご馳走 つぼふかし



つぼふかしって、何やら楽しそうな名前ですね。明治の頃から現在も、白井の集落にだけ残されている伝統的な食べ物だそうです。今では一連の農作業は、ほとんど機械で出来るようになりましたが、以前は近所で助けあって行っていました。もみなどを大きい臼に入れてひいた時に、こぼれたり飛び散ったりしたるち米やもち米を、女性た

ちが大事に集めておいて、蒸してご飯にしたものが、つぼふかしです。



白井の杉田さん

もち米とうるち米を半々位の割合で混ぜ、その中に大根の葉をきざんだものを加えるのが特徴です。

筑波の食事について詳しく、語りべでもある白井の杉田さん(82)は、「昔はね、普段は麦入りのご飯を食べていたから、つぼふかしは最高においしかったわね。重箱につめて近所に配つたりするのよ」と、大好きなつぼふかしの話をしてくださいました。一粒の米も大切にしようと思つて、人々の気持ちがおめられているつぼふかしは、現在も白井の人々の手で作り続けられています。純白の米の中に大根の緑の葉が美しい、やさしい秋のご馳走です。

上野節子(小沢地区)

つぼふかしの作り方

もち米とうるち米を半々位の割合で混ぜ、30分以上水に浸しておきます。

大根の葉(適宜)は、細かくきざんでおきます。

水気をきったもち米とうるち米を蒸し器に入れ、大根の葉と合わせて蒸します。

つぼふかしは、真白なお米のおいしさと、大根の葉の香りがするやさしい味のご飯です。おかずには、具だくさんのけんちん汁、しっかり味のついたサンマの煮つけやキンピラごぼう、浅漬のキュウリなどがよくあいます。



料理は鮭川隆雄さん一家(白井地区)にご協力いただきました。

すそみフスケツチ

橋の薫る里

福来みかん再考

万葉集東歌防人の歌の中に橋の香る故郷筑波山を懐かしむ歌がある。今から千三百年前、筑波の里は初夏には橋の香りに包まれていたのである。橋は現代の福来みかんのこと。筑波橋、筑波みかんとも呼ばれ、筑波山みやげの代表品である。神の山、神の里、豊かな自然。古からここは人々の五感を刺激し、心を癒す土地であったに違いない。早春には梅の香、初夏には橋の薫る安らぎの里としてこれからも大切にしたいものである。

石井博子(神郡地区)

編集を終えて.....

筑波山中腹の筑波地区では、家々が福来みかんを植えて「福来みかんの郷」をつくり、特産品にも活用しようとして、筑波福来みかん保存会ができたそうです。白滝古道復活へ向けて田井地区でも活動がはじまりました。住む人も訪れる人も楽しく元気になる地域づくりの芽があちこちで育ち始めたようですね。これからは、すそみろくレポートしますので応援してください。(T)

「すそみろく」は全茨城県地域貢献助成事業、都市と農村を結ぶ「すそみの森」づくりの一環として一部助成をいただいています。



第5号

筑波山の山麓一帯を「すそみ」と名づけました

第5号(平成19年10月30日) 発行・すそみろく編集委員会 TEL029-863-5151(NPO法人つくば環境フォーラム内)

秋を探して 白滝古道を歩く...

9月4日(火)暑い暑い快晴の空のもと、つくば道以前の古の道を白滝をめざして歩いてみました。歩いたのは、特別に参加いただいた筑波神社の田中泰一宮司とすそみろく編集委員有志の合計9名のメンバーです。

白滝が美しく見えるとつておきの場所がある」と、情報を持ってきた鮭川隆雄編集委員。「そう言えば昔は白滝は観光地だった」、「つくば道以外にも道はたくさんあったんですよね」——編集会議は、今や失われつつある古の道の話題で盛り上がりました。六所神社や白滝は、それこそ大勢の人々で賑わった時代があったはず。鮭川委員を案内人として(以下、隊長とは彼のこと)すそみろく編集委員一同は、白滝の絶景スポットをめざして歩くことになりました。

隊長宅に集合し、つくば道を東にそれて山に入りました。道はもちろん舗装されていません。人が歩くので踏み固められてどつやらの道の体裁を保っていますが、夏草が生い茂っている道です。両側には丈の高い草木があるので、それを分け入って進んで行くといった具合。長袖、長ズボン、帽子といったいでたちは正解でした。また、鎌や剪定ばさみ、杖



白滝古道探検隊(?)のメンバーです

も役にたちました。大汗をかきながらの山登りでしたが、夏草の中にはもうそこかしこに秋の気配が。秋の草花が可憐に咲き出していたのには大感激。そして、不意に視界が開けたと思つと、左手には二峰の勇姿がくつと迫り、右手には蚕影神社の鬱蒼とした山の森。手前は一面のすすき。収穫を終えた棚田の風景にも出会つていきました。休憩をとったのは、夫女ケ石。この石が置かれている一帯は、夫女ケ

趣のある古道を進みます



白滝に到着

所神社跡へ。宮山の中でも、鎌や剪定ばさみが

原とって、古代の嬉歌(歌垣)が行われていた場所と考えられているのだそうです。この広大な原っぱで、筑波山を眺め男女が集つたのかと、しばし想像。

そして今度は、ふれあいの里の中を進んでいきます。舗装道路...と思つたのもつかの間、隊長が指し示す右手の横道へ。すると、すぐにガマ石が姿を現わしました。これは、山頂にある有名なガマ石と違い、知る人ぞ知るもう一つのガマ石です。細い道を下っていくと水の音。そして、いよいよ白滝がその優美な姿を現わしました。深い木々の森の中の滝の姿はほんとうに美しく、近づいて滝からの水の流れに手を浸してみると、なんと冷たかったことか。ここで休憩、昼食後、滝の上にある白滝神社へ。苔むした大岩の上に建つ神社は神秘的でした。ここで田中宮司より、お話をいただきました。帰りは、宮山を下り、解散地である六

つくば市筑波 斎藤靖夫	つくば市神郡 飯田猷子	つくば市神郡 池田牧子	つくば市白井 鮭川隆雄	つくば市神郡 普門寺	つくば市神郡 みたらい農園	つくば市小沢 筑波の百草園	つくば市神郡 塩梅	つくば市神郡 多国籍料理の店	有限会社 インテリア21	(株) 白い雲パブリケーションズ	(株) 秋田雅之建築・都市環境研究所	(株) EMI 確認検査機構 代表取締役 松井孝雄	(有) つくばインキュベーションラボ	他1名の方から	協賛をいただいています。	協賛会員「すそみサポーター」 募集中! 1030000円
-------------	-------------	-------------	-------------	------------	---------------	---------------	-----------	----------------	--------------	------------------	--------------------	---------------------------	--------------------	---------	--------------	------------------------------



私たちが応援してます!